

## 5. 福利厚生施設

### (1) 所属する学部の学生食堂（生協食堂）について

問 32. あなたの所属する学部の学生食堂（生協食堂）についておたずねします。

#### 〔1〕現状

全学的に見ると、「満足している」が約4分の1強（26%）、「満足していない」が4割強（42%）、「どちらとも言えない」が3分の1（32%）となっています。学部・学科別に見ると、「満足している」の割合が最も高いのが工学部30%、次いで、農学部29%、教育学部28%、経済学部26%、法学部23%となっています。一方、医学部キャンパスの評価は低く、医学科では、「満足している」が14%、看護学科では9%にしかすぎません。

「満足していない」の割合は、医学部医学科で最も高く63%、医学部看護学科59%と医学部キャンパスの不満が強く、次いで、工学部42%、法学部40%、経済学部及び農学部39%、最も低い教育学部でも32%でした。

#### 〔2〕課題（問題点）

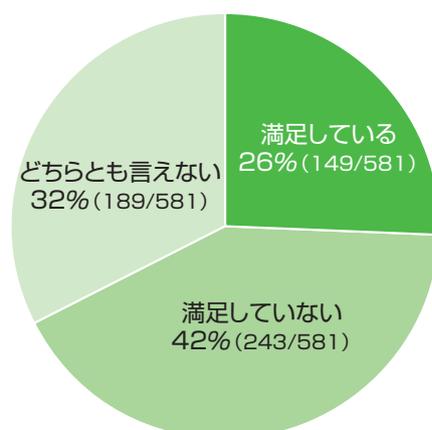
課題は、全学的に学生食堂について「満足している」学生よりも「満足していない」学生が大きく上回っていることです。とくに医学部キャンパスでは、約6割の学生が「満足していない」と答えています。看護学科のアンケート総数が22人と少ないのですが、それでも医学科の結果と傾向は全く同じです。

いずれにしても4割以上の学生が学生食堂に不満を抱いていること、とくに医学部キャンパスでは、生協食堂ではないのですがその不満は特に大きいことが分かります。

#### 〔3〕対応

医学部の学生食堂とそれ以外の学部の生協食堂の間には、満足・不満足の割合に大きな差が見られます。アンケートの自由記述欄にも医学部に生協食堂を設置してほしいという希望が散見されます。また生協食堂への改善要求の意見も以降の項目に挙げられておりますが、今後、これらについて、きめ細かく対応していくことが大切と考えています。

〈グラフ 32〉



問 33. 問 32 で「満足していない」又は「どちらとも言えない」と回答した人におたずねします。  
最も改善を希望する点は次のうちどれですか。

### 〔1〕現状

全学的に見ると、学生食堂（生協食堂）で最も改善を希望する点は、「値段」34%、次いで、「メニュー」25%、「混雑」16%、「味」13%の順です。逆に「待ち時間」1%、「雰囲気」4%などはそれほど大きな問題ではないようです。

学部・学科別に見ると幸町キャンパスにある教育学部、法学部、経済学部で、「値段」が第1位を占めそれぞれ40%を超えています。次いで、教育学部では、「混雑」24%と「メニュー」20%がこれに続き、法学部では、「混雑」20%と「メニュー」20%が第2位、経済学部では、「メニュー」19%、「混雑」14%の順となっています。また、医学部キャンパスでは、「味」が第1位であり、医学科59%、看護学科50%を占めています。第2位が「メニュー」であり、医学科23%、看護学科40%を占めています。工学部では、第1位が「値段」38%、次いで「メニュー」31%、「混雑」15%であり、農学部では第1位が「混雑」29%、次いで、「値段」24%と「メニュー」24%となっています。

### 〔2〕課題（問題点）

最も改善を希望する項目が、それぞれのキャンパスで異なっています。幸町キャンパスでは「値段」、「混雑」、「メニュー」があげられており、農学部では、「混雑」が第1位ですがほぼ同じ傾向です。工学部では特に「値段」と「メニュー」で7割を占めています。

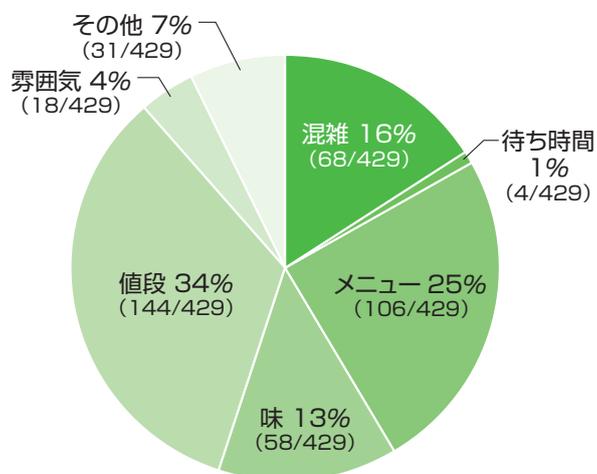
医学部キャンパスでは他キャンパスとは傾向を異にしており、「味」と「メニュー」について医学科では8割以上、看護学科では9割が最も改善を希望するものとして挙げています。

以上をまとめてみると、生協食堂のない医学部キャンパスで「味」についての改善希望が多く、逆に他のキャンパスでは「値段」と「混雑」の改善希望が多い、そして「メニュー」の改善希望がすべてのキャンパスで見られるということになります。

### 〔3〕対応

医学部キャンパスにおいては、学生食堂に対する不満が特に多く、「味」、「メニュー」についての改善要求が著しく高いことから、具体的対応が望まれます。例えば、生協食堂を新たに導入して市場競争させる等の対応が考えられます。

〈グラフ 33〉



## (2) (生協) 売店について

問 34. あなたの所属する学部の(生協)売店についておたずねします。

### 〔1〕現状

全学的に見ると「満足している」が過半数(55%)を占め、「満足していない」21%、「どちらとも言えない」24%となっています。学部・学科別に見ると「満足している」が最も高いのが医学部看護学科73%、次いで、医学部医学科62%、教育学部60%、経済学部60%、工学部50%、法学部46%、農学部44%となっています。「満足していない」では、農学部と工学部が最も高く29%、次いで、法学部23%、医学部医学科20%、経済学部15%、教育学部13%、医学部看護学科が最も低く5%となっています。

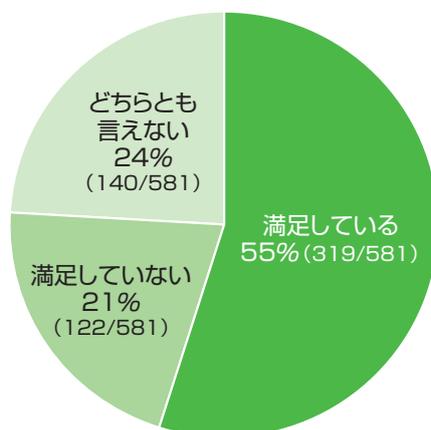
### 〔2〕課題(問題点)

学生食堂とは異なり、「満足している」とした学生が全体で半数を超えています。学部別に見ても、「満足している」が50%に満たない学部は法学部と農学部だけであり、学生食堂では不満の多かった医学部キャンパスでも、売店では「満足している」とした学生が医学科6割以上、看護学科7割以上となっています。つまり学生食堂と比べると、売店はそれほど大きな問題はないように思われます。

### 〔3〕対応

学生食堂における問題に比べると、売店では「満足していない」としたものは約2割であり、喫緊の問題ではないようです。ただし、満足度の比較的低い農学部と法学部の問題点を今後分析する必要があります。とくに法学部における満足度と教育学部・経済学部における満足度の違いが何に起因するかは、さらに調査を進める必要があります。

〈グラフ 34〉



### (3) 福利厚生施設への希望

問 35. 問 34 で「満足していない」又は「どちらとも言えない」と回答した人におたずねします。  
最も改善を希望する点は次のうちどれですか。

#### 〔1〕現状

全学的に見ると、売店で最も改善を希望する点は「品揃え」62%、次いで、「値段」21%、「応対」9%の順となっています。学部・学科別に見ると「品揃え」を挙げた割合が最も高いのが医学部看護学科の80%、次いで、教育学部70%、農学部69%、医学部医学科64%、経済学部62%、法学部57%、工学部56%の順となっています。「値段」では法学部32%、経済学部30%、工学部22%、農学部16%、教育学部13%、医学部医学科12%の順であり、医学部看護学科では0%となっています。「応対」では、工学部が最も高く15%であり、その他の学部はすべて10%以下となっています。

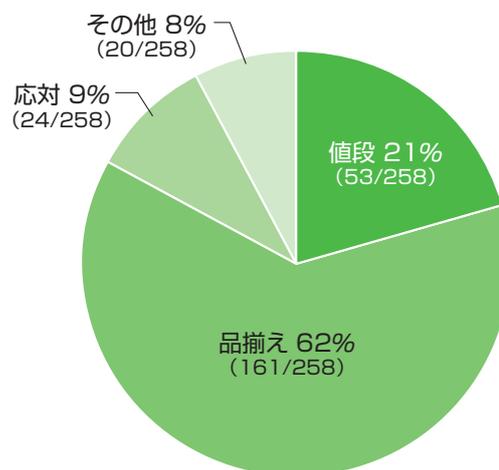
#### 〔2〕課題（問題点）

医学部看護学科では「満足していない」が1名、「どちらとも言えない」が5名であるので、その中で改善を希望する項目が「品揃え」に集中しているのは仕方のないことと思われます。しかしながらすべての学部・学科を通じて「品揃え」を改善してほしいという希望が大きいことが課題であると考えられます。

#### 〔3〕対応

もともと売店については「不満である」とした学生の割合は全体の2割と比較的少ないのですが、改善希望の最も高い「品揃え」については、学部ごとにニーズが異なる場合もあり、とくに幸町キャンパスの売店では教育学部、法学部、経済学部のそれぞれのニーズについての調査と対応が必要と思われます。

〈グラフ 35〉



問 36. 他大学では、コンビニエンスストアやカフェなどを構内に導入し、福利厚生の上を図っていますが、本学でも福利厚生施設等を構内に導入することを希望しますか。

〔1〕現状

福利厚生施設等を構内に導入することについて、全学的には「希望する」87%、「希望しない」13%となっています。学部・学科別に見ても「希望する」が医学部医学科、経済学部、教育学部で90%を超えており、医学部看護学科、農学部、工学部、法学部でも80%を超えています。

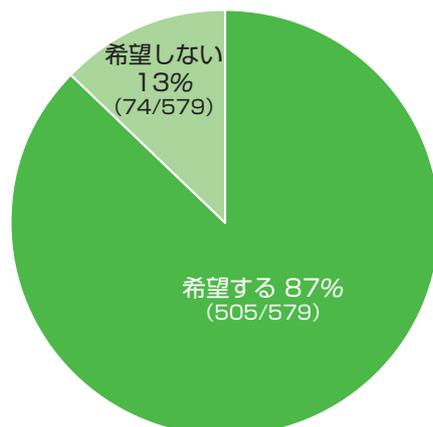
〔2〕課題（問題点）

現在の学生食堂および売店だけではなく、新たに福利厚生施設の導入を多くの学生が希望しています。学生食堂への「値段」、「メニュー」、「混雑」などへの改善の希望および売店への「品揃え」などへの改善の希望とも問題は絡んでいるようです。

〔3〕対応

次ページに具体的な施設の希望が挙げられています。実現に向けて今後、具体的に検討することが望まれます。

〈グラフ 36〉



問 37. 具体的にどのような施設を希望しますか。(複数回答可)

〔1〕現状

全学的に見ると、具体的な施設の希望は「コンビニエンスストア」23%、「カフェ」21%、「ファーストフード」20%、「書店」20%、「ドラッグストア」14%の順となっています。

学部・学科別では、教育学部で「カフェ」26%、「書店」22%、「コンビニエンスストア」20%、「ファーストフード」19%、「カフェ」12%の順、法学部で「書店」27%、「ファーストフード」21%、「カフェ」20%、「コンビニエンスストア」17%、「ドラッグストア」13%の順、経済学部で「カフェ」27%、「書店」21%、「コンビニエンスストア」20%、「ファーストフード」17%、「ドラッグストア」13%の順、医学部医学科で「コンビニエンスストア」34%、「ファーストフード」30%、「ドラッグストア」17%、「カフェ」10%、「書店」6%の順、看護学科で「コンビニエンスストア」28%、「ファーストフード」28%、「ドラッグストア」21%、「カフェ」12%、「書店」9%の順、工学部で「コンビニエンスストア」24%、「ファーストフード」20%、「書店」20%、「カフェ」19%、「ドラッグストア」13%の順、農学部で「コンビニエンスストア」26%、「書店」21%、「カフェ」18%、「ファーストフード」17%、「ドラッグストア」16%の順となっています。

〔2〕課題（問題点）

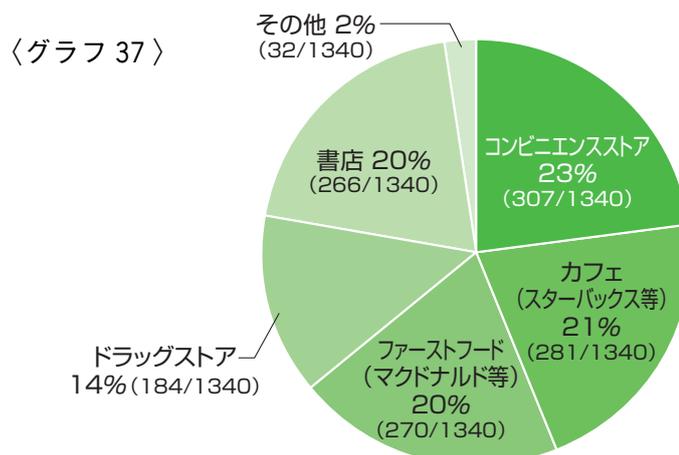
具体的に導入してほしい施設の希望については、現在の各キャンパスの実情が反映されているようです。例えば幸町キャンパスでは、改善希望の多かった生協食堂の混雑が「カフェ」「ファーストフード」導入の希望に繋がっているようです。また幸町キャンパス周辺には書店がないことが、生協売店以外の「書店」の導入希望に繋がっていると思われます。

医学部キャンパスでは、医学科、看護学科ともに同様の傾向が見られ、「コンビニエンスストア」と「ファーストフード」の導入の希望が高く、これは、医学科と看護学科とも学生食堂への不満の高さと関連しているようです。また「カフェ」と「書店」の希望はあまりありませんが、すでに医学部キャンパスには「カフェ」が存在していること、書籍の設置についても比較的充実していることが関係しているようです。

工学部、農学部でも「コンビニエンスストア」の導入希望が最も高く、周辺に適切な店舗が少ないことも関連しているようです。

〔3〕対応

新しい福利厚生施設の導入については、学生食堂（生協食堂）や売店の今後の具体的改善策の実現性と学部周辺の店舗との兼ね合いがあります。さらに実際に導入された場合の利用頻度も考慮しなければなりません。今後の実現に向けて、調査と検討が必要です。



問 38. 上記のような福利厚生施設が構内に出来た場合、どの程度利用しようと思いますか。

### 〔1〕現状

問37のような施設が構内に実現した場合の利用頻度についての回答は、全学的には、「よく利用する」が60%、「たまに利用する」34%、「どちらとも言えない」1%、「あまり利用しない」3%、「ほとんど利用しない」2%となっています。

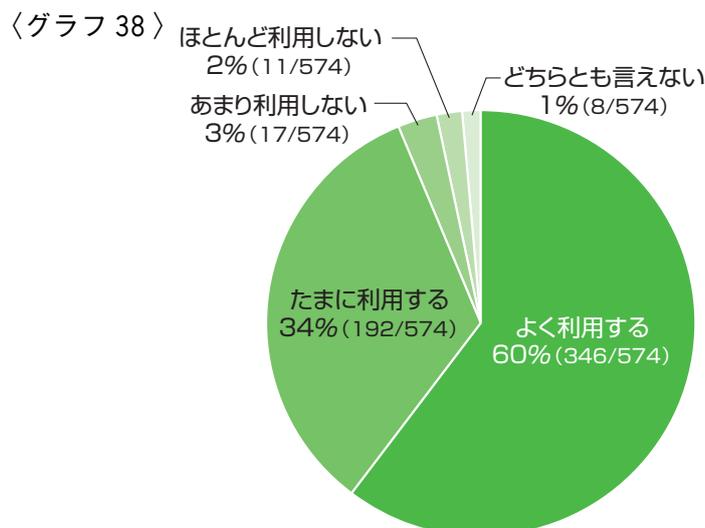
学部・学科別に見ると、教育学部では「よく利用する」68%、「たまに利用する」28%、「どちらとも言えない」1%、「あまり利用しない」3%、「ほとんど利用しない」1%となっています。法学部では、「よく利用する」68%、「たまに利用する」18%、「どちらとも言えない」2%、「あまり利用しない」6%、「ほとんど利用しない」6%、経済学部では、「よく利用する」55%、「たまに利用する」44%であり、このほか「ほとんど利用しない」としたものが1%となっています。医学部医学科では「よく利用する」61%、「たまに利用する」35%、「あまり利用しない」2%、「ほとんど利用しない」3%、看護学科では「よく利用する」45%、「たまに利用する」55%となっています。工学部では、「よく利用する」57%、「たまに利用する」33%、「どちらとも言えない」2%、「あまり利用しない」3%、「ほとんど利用しない」2%、農学部では、「よく利用する」60%、「たまに利用する」33%、「どちらとも言えない」2%、「あまり利用しない」3%、「ほとんど利用しない」2%となっています。

### 〔2〕課題（問題点）

設問の選択肢の設定のうち「たまに利用する」と「あまり利用しない」が具体的頻度としてはほとんど同じ意味になってしまうので、不適切であったと思われます。それでも全学で60%の学生が「よく利用する」と回答しており、「あまり利用しない」、「ほとんど利用しない」という否定的意見は両者を併せて5%にしかすぎません。新しい福利厚生施設を導入した際の期待は大きいと言えます。

### 〔3〕対応

いずれにしても、否定的意見は5%であり、学部・学科における偏りはありません。福利厚生施設導入に向けて積極的に検討する必要があると考えられます。



問 39. コンビニエンスストアが構内に出来た場合、24時間営業を希望しますか。

〔1〕現状

全学的には、意見は真二つに分かれています。医学部キャンパスの医学科、看護学科及び農学部ではおよそ70%が24時間営業を希望していますが、逆に法学部と経済学部では60%以上が希望しないと回答しています。また教育学部と工学部では、ほぼ半々に意見が分かれています。

〔2〕課題（問題点）

コンビニエンスストアの営業時間の希望は、学生の生活や活動および勉学のパターンによって決まることが多いと思われませんが、これに学部周辺の店舗の状況が大きく影響してきます。学部周辺の店舗の利便性が乏しく、逆に深夜でも学生がキャンパス内にいることが多いという学部・学科で、24時間営業の希望が高くなっているようです。

〔3〕対応

コンビニエンスストアが導入されることが決まっているわけでもないのに、営業時間における対応を考えることは順序がおかしいかも知れません。また24時間営業には、深夜営業に関わる食品の賞味期限と搬入の問題が関わってきます。もしコンビニエンスストアを導入することになれば、学部・学科の学生のニーズおよび地域性をよく考慮に入れて営業時間を決めていくことが大切でしょう。

〈グラフ 39〉

